



当事者の声を聴く技術「メタファシリテーション®」ポイント解説

©認定NPO法人ムラのミライ
2023年2月

★相手の話を聴くコツ

相手の状況について、なぜ(Why)、どう(How)、抽象的な言葉(いつも、よく、毎日、みんなは～)で聞きたくなったら、相手の「行動」について「いつ、どこ、誰、何」で質問し、共通理解を積みましょう。

★話を聴く技術 3つのポイント

◎事実を思い出させる質問(事実質問)をする ◎相手の自己肯定感に配慮する ◎求められないアドバイスはしない



「聴く力」を磨く研修を 開催してみませんか？

研修では、まずは1対1で、聞き手が相手との信頼関係を構築し、相手が問題や解決方法に気づくよう質問を組み立てる方法をご紹介します。

- 研修実績
 - ・厚労省受託「予防・健康づくりに関する大規模実証事業に係るコミュニケーションツール(CT)の開発・評価」(2020)
 - ・ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ助成事業「西宮で助け合う子育て」プロジェクト(2018-2020)

●メタファシリテーション®手法に関する詳細は下記HPをご覧ください。
<https://muranomirai.org/meta-facilitation/>

研修のご相談は
こちらから



担当：原康子



★事実質問で聞いてみると…

昨日は外出されましたか？

子どもの迎えに行きました。

帰り道どこかに
寄りましたか？

100円ショップで
糸を買いました。

糸を買ったんですね。
帰ってから使いましたか？

はい。実は迎えに行くまえに、
子どもの体操服を直したら途中で
糸がなくなってしまって…(続く)

思い出して答えるだけでいい★



- 相手が話してくれる
- 状況把握ができる
- ニーズに即した支援

最近の様子を知りたいとき…

最近、調子は
どうですか？

は、はい、大丈夫です。



忖度した答えをさせてしまい
共通理解を得にくい



- ・相手と話が續かない
- ・相手の状況がわからない
- ・支援計画が立てられない